

令和 7(2025)年度 編入学 (文学部史学科) 入学試験問題

2. 試験科目及び試験時間

学科	時間	筆記試験		面接
		9:00～10:00 (60分)	10:20～11:50 (90分)	13:00～
史学科		外国語(英語・日本語のうちから1言語選択) 注1	歴史(小論文を含みます)	学科の研究室において面接を行います。 詳しい集合時間は筆記試験当日にお知らせします。

注1. 史学科の外国語試験は、母語を選択することはできません。

2025 年度 学習院大学 編入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望学部	文学部	志望学科	史学科	受験番号		カナ	
						氏名	
試験科目	外国語（英語）		備考	問題解答用紙 (3) 枚中 (1) 枚		採点欄	

次の英文を読み、問題解答用紙 3 枚中 2 枚目の問いに答えなさい。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※太線わく内は必ず記入してください。

志望学部	文学部	志望学科	史学科	受験番号	カナ	
					氏名	
試験科目	外国語（英語）		備考	問題解答用紙 (3) 枚中 (2) 枚		採点欄

1. 以下の(1)～(5)の設問について、英文の内容に合致するものを選び、問題解答用紙 3 枚中 3 枚目の所定の欄の記号を○で囲みなさい。
- (1) According to the passage, which country experienced the largest percentage increase in urban populations during the 19th century?
- A) Belgium
B) France
C) Russia
D) Germany
- (2) The term "Coketown," as used by Lewis Mumford, refers to:
- A) A new technological innovation in urban industries
B) A city that was predominantly focused on industrial production
C) The countryside that supplied workers to cities
D) A major transportation hub for European trade
- (3) What is the most likely reason why many people migrated to cities during the Industrial Revolution, based on the passage?
- A) A shortage of workers in rural areas
B) The decline of economic activities in rural areas and the appeal of urban employment
C) The better quality of life in cities compared to the countryside
D) Government policies encouraging urbanization
- (4) Which of the following best describes the main challenges faced by new urban migrants in the early 19th century?
- A) The difficulty in finding jobs in cities
B) Overcrowded housing, poor sanitation, pollution, and cultural disorientation
C) Increased access to education and healthcare
D) Political unrest and lack of safety
- (5) How did the growth of the urban middle class impact 19th-century cities?
- A) It led to the decline of factory production in urban areas
B) It created significant changes in the political landscape of Western Europe
C) It contributed to the construction of more factories in the countryside
D) It resulted in the demolition of many industrial buildings
2. 下線部(a), (b), (c)を日本語に訳し、問題解答用紙 3 枚中 3 枚目の所定の欄に記入しなさい。

2025 年度 学習院大学 編入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望学部	文学部	志望学科	史学科	受験番号	カナ	
					氏名	
試験科目	外国語（英語）		備考	問題解答用紙 (3) 枚中 (3) 枚		採点欄

1.

- (1) A B C D
- (2) A B C D
- (3) A B C D
- (4) A B C D
- (5) A B C D

2.

(a)

(b)

(c)

※太線わく内は必ず記入してください。

志望学部		文学部	
志望学科		史学科	
受験番号			
氏 名		カナ	
氏 名			
採点欄			
試験科目	外国語（日本語）		
備考	問題解答用紙 （3）枚中（1）枚		

次の文章を読んで、後の設問（1）～（4）に答えなさい。解答は3枚目に記しなさい。

たとえば有名な「晩鐘」は、日暮れどきをつげる村の教会の鐘をききながら、一日の仕事のおわりにあたって祈りをささげている、まだ比較的若い農民夫婦が描かれていることは周知であろう。しかしよくみると、^①妻の方は手を組みあわせ、深く頭をたれて一心に敬虔に祈っているようすであるのになんとして、夫の方は帽子を手にもって、ちよつと頭をさげているだけで、手を組みあわせてもいない。こういう描き方をみると、歴史学をやっている人間ならば、すぐに十九世紀なかばの宗教と教会をめぐる状況が、想起されるのである。つまり、比較的若い世代の男たちから、徐々に教会ばなれがおこっており、それを脱宗教化と一般化するのには飛躍だとしても、教会をささえる主力は、はつきりと女性たちに比重がかかっていた、という状況である。ミレーが、こうした状況をどこまで意識的に描きだそうとしたのかは、ミレー研究者ではない私には今のところよくわからないが、少なくとも彼の描いた夫婦差のある情景が、その時代の一側面をよく映しだしていることは、たしかなのである。

そうしたミレーの作品に、「洗濯女」という絵がある。巨大な樽のような洗濯桶に、右手にもった壺から湯をそいでいるたくましい女を描いた作品であるが、^②そういう表題がないと、われわれにはそれが洗濯の準備をしている光景とは、なかなか理解しがたい。おそらくそれは、現代社会に生きているフランス人にしても、とくに若い世代にとつては同様だろう。

いうまでもなく今では洗濯することは、日常茶飯のことであって、しかもたいていは電気洗濯機で行なわれていることは、日本でもフランスでも似たりよったりである。そして都会では、おなじようにコイン・ランドリーは盛況である。日本では、私も敗戦直後に生まれた世代までにとつては、あの波形のギザギザのほどこされた洗濯板やたらいは、具体的な洗濯の情景と結びついて幼時の記憶に刻みこまれている。しかしそれ以後の世代にとつてはおそらく、いまの子どもたちにとつて火鉢などが絵や想像の情景にしかすぎなくなってきたのと同様、日常生活における洗濯の情景はまったく異なるものとして、したがって心象風景としてもまったくちがったものとして、あるのではないだろうか。

じつは、ミレーがその絵を描いた時代から今世紀のはじめにかけて、フランスの農民社会においては、洗濯という行為は日常茶飯のことではなく、象徴的な意味のこもった重要な「出来事」、つまり儀礼的行為ともいうべき性格をもっていたのである。^③日本での年末の大掃除が、年の移行をしるす年中行事として、いわば「通過」のための儀礼的性格をもったものであったのとおなじように、かつてのフランス農民社会において、年に一度とか二度とか行なわれた「大洗濯」は、たんに汚れを落とすという実用的機能をもったばかりではなく、季節の移行をしるす象徴的な行事でもあった。日頃もまったく洗濯がなされなかったわけではもちろんなく、たとえば赤ちゃんの衣類などが汚れたまま放置されることはありえないし、共同の洗濯場は女たちにとつて、おしゃべりや情報交換のたいせつな機会を手にするところでもあった。しかしその回数はいへん少なく、とりわけこの「大洗濯」のさいには、ためこまれたシャツなどが大量に洗われ、^④ところによつてはそのために雇われた洗濯女が、社会的に独自の地位や象徴性をになつていた。あるいはミレーが描いたのは、こうした洗濯女であっただろうか。

だから洗濯のさいの手順や、桶のような道具の扱いについても、さまざまな決まりやタブーが存在していたのである。そして洗濯にとつて欠かすことのできない水は、まだ蛇口をひねればでくるといったものではなかったわけで、たいへん貴重でもあり、同時に象徴的な意味においても重要性をもっていた。人は、身体的誕生において産湯という形で水に接し、社会的誕生としての洗礼において、また水に接した。病いのさいには、しばしば泉の水が祈りをこめた治療の手段とされ、死にゆくときには水で身体が清められた。しかも出産や洗礼に力添えする女、つまり産婆さんが、死にさいして水で身体を清める役割をする女であり、しかもそれがまた洗濯女でもあるという、洗濯の象徴的な重要性をうかがわせる事例が、フランスの民族学者によつてあきらかにされている。

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目	志望学部	
外国語（日本語）	文学部	
	志望学科	
	史学科	
備考	受験番号	
（3）枚中（2）枚		
採点欄	氏名	カナ

設問

- （1）傍線部（1）において、筆者は妻と夫の描かれ方の違いに注目しているが、その背景には妻と夫のどのような違いがあると筆者は考えているか、述べなさい。
- （2）傍線部（2）について、筆者はどのようにして理解しがたいと考えているのか、その理由を述べなさい。
- （3）傍線部（3）において、筆者はどのようなことを言いたいのか、わかりやすく説明しなさい。
- （4）傍線部（4）に関して、社会的に独自の地位や象徴性を示していることとして、筆者はどのような点を挙げられると考えているか、述べなさい。

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望学部	
外国語（日本語）		文学部	
		志望学科	
		史学科	
備考		受験番号	
問題解答用紙 （3）枚中（3）枚		氏名	
		カナ	
採点欄			

(1)

(2)

(3)

(4)